

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和3年6月21日（月）

### 2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアP2周辺

### 3 確認項目

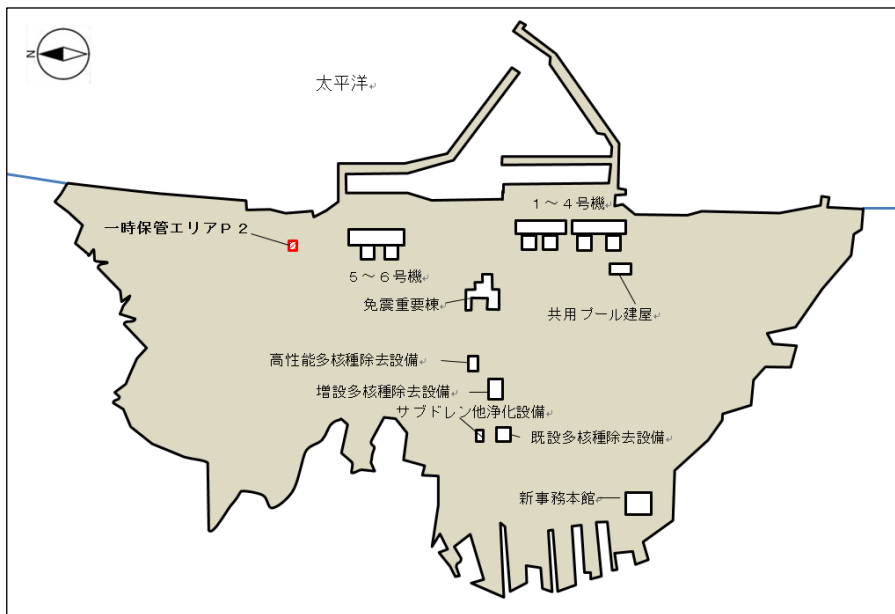
瓦礫類一時保管エリアP2周辺におけるコンテナの点検状況

### 4 確認結果の概要

東京電力では、本年3月の瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管していたコンテナから放射性物質が漏えいした事案を踏まえて、構内に保管されている約8.5万基の瓦礫等収納コンテナのうち、内容物の把握に時間を要する又は困難な状況にあるとされるもの約0.4万基の点検作業を進めている。

今回、一時保管エリアP2周辺で行われている作業状況を確認した。（図1）

- ・一時保管エリアP2周辺ではコンテナの目視点検、線量測定及び腐食孔の補修などの作業が行われていた。（写真1）
- ・点検作業は写真撮影を行いながら進められており、点検が完了したコンテナは作業場所近くに仮置きされていた。また、確認した範囲で内容物の飛散及び流出は認められなかった。（写真2）
- ・東京電力によれば、6月までにコンテナの外観目視点検を行い、7月からは内容物確認作業を実施予定としている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
外観目視点検の作業状況  
(P2エリア南側)



(写真1-2)  
コンテナ底部の目視点検状況  
(台座のコンテナ2基の上に対象コンテナを載せ底部を目視点検)



(写真1-3)  
表面線量率の測定状況



(写真1-4)  
腐食孔のテープ補修状況



(写真2-1)  
写真撮影の状況



(写真2-2)  
仮置きの場合

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。